

「過去の災害から得られた経験と教訓 ～現在、そして将来への課題～」

趣旨

我が国の災害医療体制は、阪神・淡路大震災をはじめとした、過去の災害で得られた課題を乗り越えるため、新たな仕組み作りを行い強化されてきた。

今改めて、過去の被災経験やコロナ禍も含む災害対応で得られた知見を基に、現在の災害医療体制における課題や、今後の備えとして何ができるのかを考えていく。

特に、近年は災害における直接死だけではなく、災害関連死の防止にも注目が集まっていることを踏まえ、「避難所における健康管理・医療支援」についてセッションを行うとともに、各シンポジストから今後の災害医療に関する課題意識について共有をしていただく。

開催方法は WEB 方式とし、事前収録を行う。その収録動画は、2022 年 10 月 22 日（土）、23（日）に開催される防災推進国民大会 2022 にて、日本医師会が出展するシンポジウムセッションとして配信される（日医セッションは 10 月 22 日（土）12：30～14：00）。

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）

自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされた「仙台防災枠組 2015－2030」（2015 年 3 月「第 3 回国連防災世界会議」にて採択）を踏まえて発足した防災推進国民会議の他、防災推進協議会、内閣府の三者主催によるイベント。

国民の防災に関する意識向上を目的とし、様々な省庁、地方自治体等の公的機関、団体、企業、非営利法人が出展、セッションを行う。今回で 7 回目の開催であり、日本医師会も毎回出展してきた。今回の開催地は兵庫県。

主催者の一つである防災推進国民会議は、2016 年に設置され、各界各層の有識者をもって構成し、中央防災会議会長（内閣総理大臣）が開催するもの。日本医師会長が議員に就任している。

防災推進国民大会 2022 日本医師会セッション

「過去の災害から得られた経験と教訓 ～現在、そして将来への課題～」

(特に避難所における健康管理・医療支援について)

日時：2022年10月22日(土) 12:30～14:00

※防災推進国民大会 2022 にて配信

司会：細川 秀一 日本医師会常任理事

開会

挨拶 松本 吉郎 日本医師会会長

パネリスト講演

- 藤田 宏史 先生 (兵庫県医師会 常任理事)
「避難所でのメンタルヘルスケア」
- 山口 芳裕 先生 (杏林大学 医学部主任教授・高度救命救急センター長)
「日本医師会救急災害医療対策委員会 新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」
- 柳川 忠廣 先生 (日本歯科医師会 副会長)
「災害時の口腔ケアについて」
- 村上 美也子 先生 (富山県医師会 副会長)
「避難所と要配慮者について」
- 石井 美恵子 先生 (日本災害医学会 理事)
「健康被害を最小する避難所のあり方」

ディスカッション・質疑

指定発言 柳川 忠廣 先生 (日本歯科医師会 副会長)

「検視・検案について」

総括 茂松 茂人 日本医師会副会長

閉会